

# 沖縄三育人 ～うちなーさんいくんちゅ～



ミッション・ステートメント

「私達はキリストによって選ばれた者として 互いに愛し 喜び仕え  
キリストと共に生きる喜びを実践し 分かち合う者として 歩みます」

## 「巣立ち」 (卒業式式辞より一部抜粋)

私たちは共にキリストによってむすばれた一つの家族です。悩みを抱えている者がいれば共に悩み、うれしいときには共に喜ぶ仲間です。私たち家族の大切な一員である皆さんをこの丘から送り出すときが来ました。これから皆さん一人ひとりが歩む道は異なります。しかし、いかなる時でも主が共にいて下さることを忘れないで下さい。卒業にあたって皆さんが選んでくれた聖句は詩編37：23です。

「主は人の一歩一歩を定め／御旨にかなう道を備えてくださる。」

神様は聖書を通して、神様が皆さんの行くべき道を示して下さいと約束されています。それは、もしかしたら皆さんが望むような道ではないかもしれませんが、しかし、神様は大きなご計画のうちに私たちを導いて下さっています。皆さんとこうして出会えたことも神様の大きなご計画の中で示されたものだとは私は思っています。そして先ほどお読みした聖句には続きがあって、24節には「人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえてくださる。」と書かれています。皆さん一人ひとりに示されている道は、決して平坦な道ばかりではないはずで、山あり谷ありの毎日で、時に思いもよらない出来事に直面し力尽きて倒れてしまうこともあるかも知れません。しかし、神様は皆さんを見捨てることは決してなさいません。その手でしっかりと皆さんを捕まえて下さっています。その手をしっかりとつかんで離さないで下さい。毎週土曜日の安息日学校で歌っている歌で私の好きな曲の歌詞を紹介します。

「だから忘れないで」 (Song of hope 92)

これから先、色々あると思う。泣きたいこともあると思う。耐えられなくて、何もできなくて、逃げ出したくなるかもしれない。だけど忘れないでいて、あなたを決して離すことのないイエス様が、共におられることを。私たちが生きて行く限り、喜びばかりじゃないだろうけど、苦しみの時に祈り求めよう。命まで捨ててあなたを愛したイエス様は今も生きている。

場所は離れていても、私たちはキリストにつながる一つの家族です。どんなに苦しいときであっても、イエス様の愛が行くべき道を照らして下さい。それぞれ新しい場所にあつてたくさんの人々の希望の光になって下さい。皆さんの力が今必要とされています。これからの歩みの上に、神様の守りとお導きがありますようにお祈りしています。

校長 栗山 裕介



行事報告



●ハイライト 3月1日

今年のテーマは「モンスターズインク」会場は装飾で華やかに飾られ、おなじみのキャラクターが繰り広げるスキットと3年生の思い出スライドショー、小さい頃の写真など、2年生が一致団結して作り上げた舞台を心から楽しみました。



●献身会・卒業礼拝・卒業式 3月2日～4日

先生や職員、友達、先輩後輩、保護者に感謝を述べ、讃美歌を歌い、神様への献身を誓う献身会、神様と歩む決心を新たにした卒業礼拝、そして、これまで支えていただいたたくさんの方に見守られた卒業式、この卒業プログラムと呼ばれる三日間が三育での3年間の集大成です。3年間で学んだ「幸せを作り出す力」を胸に、3年生が立派に卒業しました。



お知らせ

★新年度帰校に関するご案内

同封の「春休み帰校方法確認書」をご記入の上、3月30日までにFAXか郵送でご返送ください。

★新2・3年生の帰寮について

2018年度新学期の帰寮日は4月2日（月）です。15:00までに帰寮してください。時間に遅れることのないようお願いいたします。帰寮時間にどうしても遅れる場合は、玉那覇・大沢にご連絡ください。

★オリエンテーションブックについて

2018年度のオリエンテーションブックを同封しております。春休み中にお子様としっかり内容をご確認下さい。ご協力を宜しくお願いいたします。

移動・退職について

今年度をもちまして、沖縄三育中学校を離れる先生方です。これまでの献身的なお働きに感謝致します。

移動：当真 ひろみ先生（北浦三育中学校へ） 退職：諸喜田 恵子先生、比嘉はるか先生（美術講師）  
安藤 諒子先生（広島三育高校へ）

チャレンコラム 「出会い」 最終回

三育教育は、セブンスデーアドベンチスト教会というキリスト教会が母体です。つまりイエス様の精神こそが、三育教育の中心です。そしてイエス様の生涯は常に「他者に奉仕する」生き方でありました。

「奉仕」と似た言葉で「サービス」という言葉があります。元々は礼拝のことをワーシップサービスと言います。つまり「献げる」ことです。神と人のために自分を献げ、仕える。それがイエス様の生き方でした。

それに倣い、イエス様の精神を持ち、仕える教職員・生徒を育てること。

これが三育教育の目的であり、神が約束された国への備えであると信じているのです。

チャレン 松田健